

2024年度 西巽が丘町内会 活動方針



2024年4月1日
会長 関谷亮太郎

はじめに・・・



本年度町内会長させていただきます、関谷亮太郎48歳です。

生まれは愛媛ですが育ちは南翼が丘14年間、西翼が丘34年間住んでいます。

我々の親世代の立ち上げたこの地域も高齢化が進み町内会加入世帯数が
255/552(加入数/全世帯23年2月時点)46%となっております。

24年度は50%を切り**非常事態**と捉えております。

今一度、町内会の現状を確認し目的と意味を考え直す時期に来ていると

考えております。役員、班長、そして町内会に加入されている会員の皆様のご協力をいただきたく、24年度は『住みよい街』に向け取り組みます。

ご意見等頂けると幸甚です。ご協力とご支援の程よろしくお願い致します。



町内会の魅力・・・『住みよい街』

【メリット】

- ・有事の際の助け合い、日頃のコミュニケーションで最新、お得イベント情報共有
- ・集会所を自由に無料で使用できる(条件:町内会会員主管、予約しないで話し合い)
- ・健康促進、全世代交流型イベント開催(ハロウィーン、クリスマス会等)
- ・困ったときの助け合い、おしゃべり、(三世代交流でコミュニケーション)
- ・保健衛生、福祉文化、教育体育、土木、防火防犯(子供たちが安心して住める街)

【デメリット】

- ・多様性の時代、忙しい(考え方→参加自由、無理に誘わない、各班の主体性にまかせる)
- ・イベント主催疲れる(考え方→やりがい、やり切った時の達成感、班長・役員報酬)

変えたい事・・・『将来像』



【現状】

- ・町内会会員数の減少が止まらない(存続の危機)

【目標】

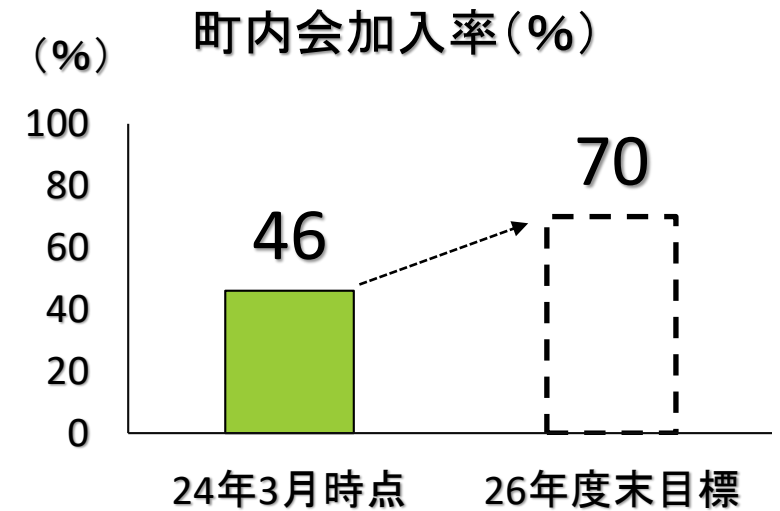
- ・加入率70%以上(3年後26年度末)

【計画】

- ・4-9月:現状把握、10-3月改善実施(次年度以降継続)

【改善案】

- ・子女出生祝い金・・・西翼が丘町内会員世帯(住民)に限り10,000円支給
- ・小中学校入学祝い金・・・西翼が丘町内会員世帯(住民)に限り5,000円支給



町内会の意味・・・『繋がり』



【西翼が丘町内会規約より】 第1章 総則 第2章 目的および事業 第2条

・この会は、会員相互の親睦協力により福祉・文化の向上を図り、

住みよい街づくりを目的とする → この意味を紐解いてみると

- ①この会・・・西翼が丘地区全居住民を会員とする(第3章 会員 第4条)
- ②会員相互・・・全住居住民が互いに同じことをしあう事
- ③親睦協力・・・互いに親しみ合い、仲良く、力を合わせてことにあたる事
- ④福祉の向上・・・公的扶助やサービスにより生活の安定、充足される事
- ⑤文化の向上・・・社会の風習・伝統・思考方法・価値観を世代を通じて伝承される事
- ⑥住みよい街づくり・・・高齢化社会の進む中、第二の現役世代のシニア層と志を同じくする若い世代が事業を通じて豊かな環境と地域社会の活性化及び、活性化、福祉の増進に寄与する

町内会の目指すイメージ …『好きな事ができる街』



【条件】 ※街…人が大勢集まって居住する場所

●秩序ある自由…モラル、マナー、思いやり、ポジティブ

①好きな事をする…主体的に動く

②やりがい…自分で考えてする事には意味がある

③達成感…『良く』も『悪く』もやり切る事

④継続性…無理なくできるのでやり続けることができる

⑤将来へ伝承…良い事(悪い事)は、後世に伝わる

⑥人との繋がり…人は一人では生きていけません

⑦住みよい街・風土醸成…知多市は『ちょうどよい街』

⑧長生き…良い状態での長生きが『幸せ』

皆様のご協力 宜しくお願い致します！

以上、ご清聴ありがとうございました。

●回覧板の情報をいち早くお届け致します●



←『R6年度 西翼が丘町内会HP』
閲覧の方はコチラ

お名前フルネームで
トークに送信下さい！



『班長-役員グループライン』
ご入会はこちらまで⇒